

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0390
調整後保管日時				2018年1月17日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)									
	発生場所	車輦汚染検査場					2017/12/28	2017/12/28	2017/12/28		
	作業主管G	放射線安全グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2017/12/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	パワートート(容器、パレット)	A	02	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/17 11:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
			06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	D	伐採木						
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No.	6012312 - 0004
-------	----------------

作業主管理	保管希望日時	2018年1月17日				(水)	12:30				承認		審査		作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)															
	発生場所	車輛汚染検査場										2017/12/28		2017/12/28		2017/12/28	
	作業主管G	放射線安全グループ					監理員						TEL				
	元請会社						担当者						TEL				
記録入欄メモ	線量測定年月日	2017/12/27		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-123			
	No.	保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	パワートート(容器、パレット)			A	02	D	B	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2								m ²								
	3								m ²								
	4								m ²								
5								m ²									

固体廃棄物管理G記入欄						受付
受付番号						
廃2018	—	01	—	0391		
調整後保管日時		2018年1月17日			2017/12/28 12:30	
【保管時の指示事項等】						

線量測定内容			
測定日	2018年1月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1		パワートート(容器、パレット) (-→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/17 12:30	5 m ³		
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)								
	発生場所	車両汚染検査場						2017/12/28	2017/12/28	2017/12/28
	作業主管G	放射線安全グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/27		測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
	1	パワートート(容器、パレット)			A 02 D B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
5					m ²					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0392
				2017/12/28
調整後保管日時		2018年1月17日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/17 12:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012312 - 0004	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 入 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	10:30		承認	審査	作成							
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)														
	発生場所	車輛汚染検査場						2017/12/28	2017/12/28	2017/12/28						
	作業主管G	放射線安全グループ			監理員		TEL									
	元請会社				担当者		TEL									
	線量測定年月日	2017/12/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123								
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率				
	1	パワートート(容器、パレット)			A	02	D	B	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2									m ²						
	3									m ²						
4									m ²							
5									m ²							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0393
				2017/12/28
調整後保管日時		2018年1月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 10:45	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012312 - 0004

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0394
				2017/12/28
調整後保管日時		2018年1月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)								
	発生場所	車両汚染検査場								
	作業主管G	放射線安全グループ			監理員		TEL			
	元請会社	1			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	パワートート(容器、パレット)	A	02	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	パワートート(容器、パレット) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 12:20	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1~3号機SFP循環冷却設備信頼性向上対策工事(件名統合により名称変更)								
	発生場所	5.6号超高压開閉所-南東エリア					2018/1/9	2018/1/9	2018/1/9	
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/27	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-54	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B 02	D	B	2 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	β有	40 μSv/h
	2	保温材	B 06	D	B	0.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	β有	20 μSv/h
3	不燃物その他	B 10	D	B	2 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	β有	200 μSv/h	
4	金属ガラ	B 01	D	B	0.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	β有	400 μSv/h	
5	金属ガラ	B 01	D	B	3.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	β有	400 μSv/h	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 No.1~4: 6m3コンテナ (No.00707) No.5: 6m3コンテナ (No.00721) No.6~9: 6m3コンテナ (No.00719)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0398
				2018/1/9
調整後保管日時		2018年1月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	7 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアX	2018/1/19 13:10	6 m ²		ZK-00707	1
	1	2	6m3コンテナ	7 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアX	2018/1/19 13:10	6 m ²		ZK-00721	1
	1	3	6m3コンテナ	7 μSv/h	40 μSv/h	40 μSv/h	エリアX	2018/1/19 13:10	6 m ²		ZK-00719	1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納
--------	------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③						
	6	コンクリートガラ	B	02	D	B	1 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	40 μ Sv/h
	7	保温材	B	06	D	B	1 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	20 μ Sv/h
	8	金属ガラ	B	01	D	B	2 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	400 μ Sv/h
	9	不燃物その他	B	10	D	B	0.5 m ³	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	β 有	20 μ Sv/h
	10						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0398

[illegible]

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013112 - 0002					
作業主	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	8:30		承認	審査	作成						
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	残Con処理場エリア						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
管	線量測定年月日	2018/1/9		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-GMAD-132				
	No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
1	コンクリートガラ			B	02	D	B	15	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
2									m ²						
3									m ²						
4									m ²						
5									m ²						
メ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0399	2018/1/10
調整後保管日時		2018年1月17日			8:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-190
3		ICW	F1-ICW-190
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	6	μ Sv/h								
1	1	1	コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアC	2018/1/17 8:10	5 m ²			1
1	2	2	コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアC	2018/1/17 9:10	5 m ²			2
1	3	3	コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアC	2018/1/17 9:35	5 m ²			3
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —					
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —					
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	残Con処理場エリア						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/1/9	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-GMAD-132	
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	B	15 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0400
				2018/1/10
調整後保管日時		2018年1月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 8:30	5 m ³			1
	1	2	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 8:50	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	D	伐採木											
	②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0132

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	SARRYクローラクレーン処理委託							
	発生場所	1F構内					2018/1/9	2018/1/9	2017/12/22
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/11/21	測定者		測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	222/101	
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	クローラキャタ部	B 01	D A	10 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β有	0.05 mSv/h
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
5				m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※88コンテナ2個(コンテナ1個につきクローラキャタ部55充填))									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0401
調整後保管日時				2018年1月19日 10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	15 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/1/19 9:50	10 m ²		OK-0001	1
	1	2	10m3コンテナ	15 μSv/h	20 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2018/1/19 9:50	10 m ²		OK-0227	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	通信ケーブル故障対応								
	発生場所	G1エリア他						2018/1/10	2018/1/10	2018/1/10
	作業主管G	通信システムグループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	PS	管理番号	F1-PS-215		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③						
1	紙・ウェス・ダンボール類	A	01	D	A	2.5 m ²	9 μSv/h	10 μSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2 m ²	9 μSv/h	10 μSv/h	無	
3	木材類	A	03	D	A	1 m ²	9 μSv/h	10 μSv/h	無	
4	可燃物その他	A	04	D	A	0.5 m ²	9 μSv/h	10 μSv/h	無	
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0428
				2018/1/10
調整後保管日時		2018年1月19日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス・ダンボール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 12:35	1.3 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 12:35	1.2 m ²			1
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 12:35	1 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 12:35	0.5 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013202 - 0001
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)								
	発生場所	1号機北西ヤード					2018/1/11	2018/1/11	2018/1/10	
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/20	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-49		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物その他:鉄筋コンクリートガラ	B	10	D	A	4 m ²	0.003 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	1) 2018, 1, 10 不燃物:コンクリートガラで持込、鉄筋混在につき受入拒否されました。 2) 再申請:鉄筋コンクリートガラ、4m3ベッセルに収納して10tトラック運搬、クレーンにて荷下します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0439
				2018/1/11
調整後保管日時		2018年1月19日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他:鉄筋コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/19 8:20	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013801 - 0007	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月17日		(水)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F ウェルタンク整備工事									
	発生場所	4号放水口						2018/1/11	2018/1/11	2018/1/10	
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	電離箱式サーバイメータ	管理番号	F1-ICWBL-69		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ケーブルラック	B	01	D	A	6 m ²	0.04 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.4 mSv/h	
2						m ²					
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
メモ	・ β 汚染あり ・Xヤードの8m3コンテナ1基を現場に搬出し、廃棄物を積み込み後にXヤードへ搬入することで調整中。										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0448	2018/1/11
調整後保管日時		2018年1月17日		12:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年1月17日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	15 μ Sv/h	60 μ Sv/h	250 μ Sv/h	エリアW1	2018/1/17 12:35	10 m ²		B0135	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は10m3コンテナ1基に収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013202 - 0001		
作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)										
	発生場所	1号機周辺ヤード					2018/1/12	2018/1/12	2018/1/12			
	作業主管G	1号機建築グループ			監理員		TEL					
	元請会社				担当者		TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2017/12/26		測定者			測定器名	電 離 箱		管理番号	F1-ICWBL-49	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③								
	1	不燃物:金属ガラ(ワイヤ・鋼材・折版)	B	01	D	B	18 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2						m ²					
3						m ²						
4						m ²						
5						m ²						
メ モ	1) 金属ガラ運搬車両: 25t高床トレーラー・10tユニット車 計2台予定です。 2) 金属ガラ荷下: 70t 移動式クレーン予定してます											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0452
				2018/1/12
調整後保管日時		2018年1月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	不燃物:金属ガラ(ワイヤ・鋼材・折版)⑦	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 8:20	12 m ²			1
1	2	2	不燃物:金属ガラ(ワイヤ・鋼材・折版)⑧	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/18 8:25	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013203 - 0002	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバ)工事									
	発生場所	各タンクエリア					2018/1/12	2018/1/12	2018/1/12		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	ICW(γ)		管理番号	F1-ICW-189	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	可燃物(プラスチック、ビニール類)	A	02	D	B	5 m ³	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無		
2						m ³					
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0470
				2018/1/15
調整後保管日時		2018年1月19日		11:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。よろしくお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	可燃物(プラスチック、ビニール類)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/19 11:10	3.3 m ³				1
											m ³				
											m ³				
											m ³				
											m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		
			06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		
			B 不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
C 難燃物	11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —				
	D 伐採木	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
②		状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.

6013707 - 0107

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	SARRY II新設工事								
	発生場所	既設多核種						2018/1/15	2018/1/15	2018/1/15
	作業主管G	処理設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/11/27	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-167F1-ICWRW-104	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	10 mSv/h
2	可燃物(ビニール類)	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	10 mSv/h
3	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	10 mSv/h
4	難燃物(ゴム類)	C	01	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	10 mSv/h
5	難燃物(その他)	C	04	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	10 mSv/h
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0472	2018/1/15
調整後保管日時		2018年1月19日		11:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年1月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	7 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアX	2018/1/19 11:40	6 m ²		TB-103	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は6m3コンテナ1基に収納
----	---------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シード類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0027	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G6タンクエリア						2018/1/15	2018/1/15	2018/1/15	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/28	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-133	
	G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス	A	01	W	B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス	A	01	W	B	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.07 mSv/h	β有	2.5 mSv/h
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
	5	可燃物 その他	A	04	W	B	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	1 mSv/h
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0478
				2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	紙・ウエス	5 μSv/h	70 μSv/h	2.5 mSv/h	エリアX	2018/1/19 9:40	0.2 m ²			1
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 9:40	0.4 m ²			2
	4	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	10 μSv/h	60 μSv/h	エリアX	2018/1/19 9:40	0.2 m ²			1
	5	1	可燃物 その他	5 μSv/h	50 μSv/h	1 mSv/h	エリアX	2018/1/19 9:40	0.2 m ²			1
	6	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 9:40	0.1 m ²			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	可燃物その他	A	04	D	B	1.8	m ³	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7	保温材	B	06	D	A	0.8	m ³	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	8	不燃その他	B	10	D	B	0.5	m ³	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	9	ゴム類	C	01	D	B	0.2	m ³	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	10	難燃シート	C	02	D	B	0.3	m ³	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.7	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0478

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013204 - 0001	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア					2018/1/15	2018/1/15	2018/1/15		
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/15	測定者		測定器名	ICW(β)	管理番号	F1-ICW-364			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	コンクリートガラ		B	02	W	B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
2							m ²				
3							m ²				
4							m ²				
5							m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0479	2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月19日		13:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	01	フランジタンク本体	02	フランジタンク付属品	03	—	04	—	05	—
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2017/12/27	2017/12/27	2017/12/27
	作業主管G	総務グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/21	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	081
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	ペットボトル		①	②	③	5 m ³	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0016
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月15日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 9:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0017
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月15日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月15日		(月)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2017/12/27	2017/12/27	2017/12/27
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/21	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	081	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	プラスチック	A 02	D A	4 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
	2	難燃物その他	C 04	D A	1 m ²	6 μSv/h	6 μSv/h	無	
3				m ²					
4				m ²					
5				m ²					
メ モ	回収								

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 10:05	3.8 m ²			1
	2	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/15 10:05	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年1月16日		(火)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL	
	元請会社					担当者	TEL	
G記入欄	線量測定年月日	2017/12/21	測定者		測定器名	FI-SC		管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙類	A	01	D	A	5 m ²	6 μ Sv/h
	2						m ²	
入	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
	回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0018
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	FI-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/16 9:45	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G	保管希望日時	2018年1月16日				(火)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務													
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)							2017/12/27	2017/12/27	2017/12/27				
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
線量測定年月日	2017/12/21	測定者				測定器名	Fi-SC		管理番号		081				
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
		①	②	③											
	1	紙類	A	01	D	A	5	m ²	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
	2							m ²							
	3							m ²							
	4							m ²							
欄	5						m ²								
メモ	回収														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	01	—	0019	
					2017/12/27
調整後保管日時		2018年1月16日			10:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年1月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアO	2018/1/16 10:00	4 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0002			
作業主管理G記入メモ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	8:00		承認	審査	作成				
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)											
	発生場所	南側埋立エリア(GH-26北西)						2018/1/15	2018/1/12	2018/1/12			
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員		TEL					
	元請会社					担当者		TEL					
	線量測定年月日	2017/12/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
	1	可燃物その他	A	04	W	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無			
	2						m ²						
	3						m ²						
4						m ²							
5						m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													
保管実績記入メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/19 8:30	5.2 m ²			1	
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013101 - 0002			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	9:30		承認	審査	作成				
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(毎年度)											
	発生場所	南側埋立エリア(GH-26北西)						2018/1/15	2018/1/12	2018/1/12			
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員		TEL					
	元請会社					担当者		TEL					
	線量測定年月日	2017/12/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
	1	可燃物その他	A	04	W	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無			
	2						m ²						
	3						m ²						
4						m ²							
5						m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	9 μSv/h		エリアO	2018/1/19 9:15	5.2 m ²			1	
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0034
				2018/1/15
調整後保管日時		2018年1月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0026	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	9:00		承認	審査	作成					
	作業件名	J9エリアタンク受入配管設置工事												
	発生場所	H1東エリア(GP-23南 道路脇)						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16				
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL						
	元請会社					担当者		TEL						
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/1/10		測定者			測定器名	ICS-323C		管理番号	R06009			
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③										
	1	紙・ウエス	A	01	D	A	1	m ²	0	mSv/h	0	mSv/h	無	
	2	コーキング材	C	04	D	A	1	m ²	0	mSv/h	0	mSv/h	無	
3	塩ビ管	B	05	D	A	0.2	m ²	0	mSv/h	0	mSv/h	無		
4	可燃物その他	A	04	W	A	1	m ²	0	mSv/h	0	mSv/h	無		
5	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.3	m ²	0	mSv/h	0	mSv/h	無		
回収														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0035
				2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月18日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/18 9:25	1.2 m ²			1
	2	1	コーキング材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/18 9:25	0.2 m ²			1
	3	1	塩ビ管 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/18 9:25	0.3 m ²			2
	4	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/18 9:25	0.7 m ²			1
5	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/18 9:25	0.3 m ²				1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	03	—	04	—	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	木材類	A	03	D	A	0.01	m ²	0	mSv/h	0	mSv/h	無		
	7						m ²								
	8						m ²								
9						m ²									
10						m ²									

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0035

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012311 - 0001	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月19日		(金)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F保安資材管理業務委託									
	発生場所	入退域管理棟および構内休憩所					2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16		
	作業主管G	保安総括グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/13	測定者		測定器名	ICW	管理番号	FI-ICW-149			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	ダンボール	A	01	D	B	3 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0036
				2018/1/16
調整後保管日時		2018年1月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
1	1	ダンボール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/19 9:20	3 m ²				1
											m ²				
											m ²				
											m ²				
											m ²				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	01	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
D	伐採木	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託							
	発生場所	土捨て場					2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2017/12/10	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-73
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ	B 01	D A	50 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	機器類・制御盤類	B 03	D A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3	ケーブル類	B 08	D A	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
4	不燃物その他	B 10	D A	50 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無		
5	不燃物その他	B 10	D A	35 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	β有	0.015 mSv/h	
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0037
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2		ICWBL	F1-ICWBL-55	
3		ICWBL	F1-ICWBL-105	
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 9:05	2 m ²			1
	2	1	機器類・制御盤類③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 9:25	1 m ²			2
	3	1	ケーブル類⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 9:45	2 m ²			2
	4	1	不燃物その他③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 9:15	8 m ²			2
	4	2	不燃物その他③	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/18 10:00	6 m ²			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	No.5の保管物は6m3コンテナ6基に分けて収納
--------	--------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③									
	6					m ²								
	7					m ²								
	8					m ²								
	9					m ²								
	10					m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	01	—	0037

保管 実績 記録 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	4	3	不燃物その他 ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/1/18 10:00	6	m ³			2
	4	4	不燃物その他 ③	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/1/18 10:45	8	m ³			2
	5	1	不燃物その他	8	μ Sv/h	55	μ Sv/h	60	μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 10:15	6	m ³		ZK-00723	3
	5	2	不燃物その他	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 10:15	6	m ³		ZK-00703	3
	5	3	不燃物その他	8	μ Sv/h	110	μ Sv/h	120	μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 10:15	6	m ³		ZK-00731	3
	5	4	不燃物その他	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 10:35	6	m ³		ZK-00733	3
	5	5	不燃物その他	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 10:35	6	m ³		ZK-00705	3
	5	6	不燃物その他	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 10:35	6	m ³		ZK-00724	3
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	9:00		承認	審査	作成					
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託												
	発生場所	土捨て場						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16				
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員		TEL						
	元請会社					担当者		TEL						
	線量測定年月日	2017/12/10		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-73			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率					
		①	②	③										
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	3	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	D	A	3	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
	4	可燃物その他	A	04	D	A	12	m ²	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	β有	0.015 mSv/h
	5							m ²						
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0038
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:00	1.1 m ²			2
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:00	0.8 m ²			2
	2	2	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:00	0.5 m ²			2
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	20 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:00	0.3 m ²			2
	4	1	可燃物その他	8 μSv/h	50 μSv/h	50 μSv/h	エリアX	2018/1/18 9:20	6 m ²		ZK-00713	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
	No.4の保管物は6m3コンテナ1基に収納											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託							
	発生場所	土捨て場					2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-73	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無
1	ゴム類			C 01 D A	2 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2					m ³				
3					m ³				
4					m ³				
5					m ³				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0039
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/18 9:10	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託								
	発生場所	3・4号機建屋周辺					2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16	
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/1/15	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	ICWBL-80		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	6 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有
2	金属ガラ	B	01	D	A	6 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
※6m3コンテナ2基で運搬(借用済)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0040
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	8 μ Sv/h	55 μ Sv/h	65 μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 9:00	6 m ³		ZK-00734	1
	2	1	金属ガラ	8 μ Sv/h	75 μ Sv/h	85 μ Sv/h	エリアX	2018/1/18 9:30	6 m ³		ZK-00745	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
上記の保管物は6m3コンテナ2基に収納												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
	発生場所	水素トレーラーエリア						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	ICWBH		管理番号	ICWBH-025	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	石綿含有物		B	07	D	A	12 m³	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
2							m³				
3							m³				
4							m³				
5							m³				
※石綿含有物:みなしアスベスト(1.5m3ボックスコンテナ収納済8基)運搬											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	01	—	0041	2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日			10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止									m³			
												m³			
												m³			
												m³			
												m³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013502 - 0001																																				
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	10:00		承認	審査	作成																																							
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託																																														
	発生場所	車両サーベイ場南側						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16																																						
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員			TEL																																							
	元請会社					担当者			TEL																																							
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	ICWBH		管理番号	ICWBH-025																																						
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																						
	1	金属ガラ		B	01	D	A	14 m ³	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無																																					
	2							m ³																																								
	3							m ³																																								
4							m ³																																									
5							m ³																																									
※金属ガラ(7m3ノッチタンク2基)になります。																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2018年1月18日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="2">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>														線量測定内容					測定日	2018年1月18日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICWBL	F1-ICWBL-55		2					3					4				
線量測定内容																																																
測定日	2018年1月18日																																															
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																													
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																													
2																																																
3																																																
4																																																
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																				
	1	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 10:10	14 m ³			1																																				
									m ³																																							
									m ³																																							
									m ³																																							
									m ³																																							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																
メ																																																
モ																																																
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																			
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																			
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																			
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																			
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																			
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																			
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																			
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																			
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																				
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																									
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001	
作業主管理	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
	発生場所	3・4号機建屋周辺					2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16		
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80	
記入欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A 01	D	A	4 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	A	4 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	ゴム類	C 01	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4	難燃シート類	C 02	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
メモ	5	難燃物その他	C 04	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0043
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
メモ	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	20 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:40	2.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:40	2 m ²			1
	3	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:40	0.4 m ²			1
	4	1	難燃シート類	2 μSv/h	40 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:40	0.2 m ²			1
	5	1	難燃物その他 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/18 9:40	1.3 m ²			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A 可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
			B 不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
C 難燃物	01	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—			
	02	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—			
D 伐採木	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—			
	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 8013502 - 0001	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
	発生場所	3・4号機建屋周辺						2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/1/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	ICWBL-80	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	金属ガラ	B 01	D A	15 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無			
	2	ケーブル類	B 08	D A	8 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無			
	3				m ²						
4				m ²							
5				m ²							
メモ	※トラックでピストン予定、時間前後します。(担当者から受付へ随時連絡)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0044
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	2	金属ガラ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/18 10:40	4 m ²				1
								m ²				
								m ²				
								m ²				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—			
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—			
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類			
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他			
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—			
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—			
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)														
		注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013502 - 0001	
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託									
	発生場所	車両サーベイ場南側					2018/1/16	2018/1/16	2018/1/16		
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者		測定器名	ICWBH		管理番号	ICWBH-025		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	金属ガラ		B	01	D	A	14 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
2							m ²				
3							m ²				
4							m ²				
5							m ²				
※金属ガラ(7m3ノッチタンク2基)になります。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	01	—	0045
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	01	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
D	伐採木	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013502 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月18日		(木)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託							
	発生場所	水素トレーラーエリア						2018/1/16	2018/1/16
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/1/11	測定者			測定器名	ICWBH	管理番号	ICWBH-025
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	石綿含有物	B	07	D	A	12 m ²	0.02 mSv/h	0.03 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
※石綿含有物:みなしアスベスト(1.5m3ボックスコンテナ収納済8基)運搬									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	01	—	0046
				2018/1/17
調整後保管日時		2018年1月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。